



立山砂防事務所では、立山カルデラを中心とする常願寺川流域での砂防施設の整備を進めつつ、災害に強いまちづくりに寄与することを目的として、体験学習会などの防災学習を推進しています。今年度は富山市立上滝小学校の6年生を対象に、業界団体の協力のもと防災学習が実施されました。

◎ 出前講座：第1回：令和6年6月26日、第2回：令和6年10月17日 ◎ 子供防災教室・立山カルデラ見学会：令和6年9月6日

◎ 講演会での学習発表：令和7年2月12日（水） 斜面防災対策技術講演会（会場：ホテルグランテラス富山）

これらの取り組みを通じて、今後も地域の皆さまとの連携を深め、より一層の防災対策を進めてまいります。

出前講座

主催：斜面防災対策技術協会富山支部 支援：立山砂防事務所



令和6年6月26日（第1回）

第1回講座では、暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割、立山で行われている砂防事業について理解を深めました。



令和6年10月17日（第2回）

第2回講座では、土砂災害のしくみや砂防施設の効果についてより理解を深めてもらうために、実際に土砂災害と砂防施設のミニ模型を用いた実験を行いました。

斜面防災対策技術講演会

主催：(一社)斜面防災対策技術協会富山支部
富山県治水砂防協会 NPO法人富山県砂防ボランティア協会

富山市立上滝小学校の6年生15人が今年度の防災学習を通して学んだことをまとめ、斜面防災対策技術講演会で学習成果を発表しました。

『出前講座』については新しく知ったことをまとめたほか、行った模型実験の予想・結果・考察を分かりやすく説明しました。さらに、『子供防災教室』での現地見学をはじめとした各種体験についても、壮大なスケールの立山カルデラを目の当たりにした驚きが伝わってくる素晴らしい発表でした。

また、国土交通省砂防部保全課から椎葉秀作 保全課長を講師としてご招請し、『能登半島地震等に伴う土砂災害と対策』と題してご講演いただきました。

STUDY

EXPERIENCE

OUTPUT

子供防災教室

令和6年9月6日

常願寺川の治水事業の大切さや砂防の歴史を学ぶため、子供防災教室を開催しました。カルデラ現地見学に先立ち、立山カルデラ砂防博物館での学習と土石流体感3Dシアターの体験、トロッコの体験乗車を行いました。



立山カルデラ砂防博物館



土石流体感3Dシアター



白岩砂防堰堤

基調講演



「能登半島地震等に伴う土砂災害と対策」

椎葉 秀作 氏

国土交通省 砂防部 保全課長

